

【午前の部】

I 10:30-12:10 自由論題報告

- ①10:30-11:20 清水 美里（明治学院大学
国際平和研究所）
台湾ヒースブラウ事件から米糖相克を考える
——製糖会社の土地改良事業
司会：谷ヶ城 秀吉（専修大学）
- ②11:20-12:10 須永 徳武（立教大学）
植民地企業は儲かったか？——収益性比較
司会：山本 裕（香川大学）

II 12:10-12:40 会員総会

【午後の部】

III 13:45-18:00 共通論題

司会：細谷亨（立命館大学）
清水美里

問題提起

13:50-14:00 白木沢 旭児（北海道大学）

報告

- ①14:00-14:30 竹野 学（北海商科大学）
樺太における終戦・引揚げと北海道
- ②14:30-15:00 兎内 勇津流（北海道大学）
ロシア・ソ連の史料・文献に見る
ソ連の南サハリン統治（1945～1950）
- ③15:00-15:30 内藤 隆夫（東京経済大学）
朝鮮北部におけるソ連進駐
——日本窒素肥料（興南）の事例を中心に
- ④15:30-16:00 荒井 幸康
日本とモンゴル
——ノモンハン、解放戦争と戦後

コメント

- ①16:10-16:25 浅野 豊美（早稲田大学）
②16:25-16:40 加藤 聖文（国文学研究資料館）

総合討論

16:40-18:00

【共通論題】
日本帝国の崩壊と
ソ連による占領

日本植民地研究会
第26回全国研究大会

2018年7月15日(日)

10:30-18:00

(10:00 受付開始)

北海学園大学 豊平キャンパス
7号館3階 D30番教室

参加費無料・非会員来聴歓迎・
事前申込不要

日本植民地研究会 事務局

〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26

立教大学 観光学部 千住一研究室

E-MAIL senjuhajime@rikkyo.ac.jp

研究会ホームページ <http://sjcs.exblog.jp/>